

あなたと健康をひらく広報誌

あいのまど



秋田赤十字病院

No.55

2024

AI no MADO



contents

特集：採取された組織が
がんであるか否かを診断します

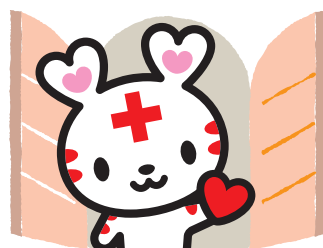
病理診断科

部署紹介：小児科

健康リハビリコラム：運動前のおすすめストレッチ4選
市民公開講座「卵巣がん・卵管がん」を公開しました
患者満足度調査の結果を公開しました

ACTION!防災・減災-命のために今うごく-
がん患者コミュニティサロンを開催しています

裏面には
外来診察-覧も
ついてきます



COVER PHOTO
ひょうしのしゃしん



令和6年能登半島地震に
対する救護班派遣

令和6年能登半島地震の被災地に派遣された救護班第1班が避難所を巡回している様子です。当院では令和6年能登半島地震に対し日本赤十字社秋田県支部の救護活動として救護班等の派遣を行っています。今後も要請があれば職員を派遣していく予定であり、職員一人一人となって支援してまいります。

特集 病理診断科

採取された組織が
がんであるか否かを診断します

Department of Pathology

病理診断科部長
東海林 琢男

日本専門医機構認定病理専門医
日本病理学会分子病理専門医
日本病理学会研修指導医
日本臨床細胞学会細胞診専門医・教育研修指導医
厚生労働省死体解剖資格認定医(病理解剖)
臨床研修指導医
がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会修了
ひとこと:一同、常に向上心を持ち正確な病理診断を目指しています。



後列左から鳴海組織検査係長、東海林病理診断科部長、児玉臨床検査技師
中列左から小田長技術員、浅利細胞検査課長、田山組織検査課長
前列左から石川臨床検査技師、伊藤臨床検査技師

主な業務は
採取された組織のがん診断

当院における病理診断科の主な業務は、患者さんから採取された細胞診検体、生検・手術検体が、がんであるか否かを診断することです。検体から、細胞診標本・病理標本(プレパラート)を作製、顕微鏡で観察し、最新の基準を適用して細胞診・病理診断をしています。検体採取から多数の試薬を用い、多段階の操作を経て、結果の正確性の検証を行い病理診断結果が報告されるので、検体採取から病理診断まで2日間から30日間要します。日本臨床衛生検査技師会の北海道・東北地区病理検査・精度管理の代表を務める技師もおり、これらの各過程が正

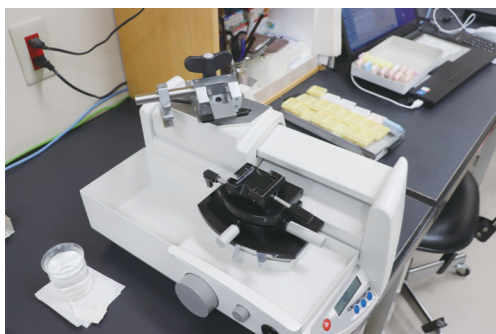
最適な抗がん剤の決定の
ための2次検査

院内での免疫組織化学検査や検査会社委託による遺伝子検査により、がんの性質を調べて最適な抗がん剤の決定のための検査を行っています。

確であるか絶えず検証しています。病理診断結果に基づいて主治医が治療方針を決めます。細胞診検査、病理検査の費用は1回あたり3割自己負担分約1200円から1万円を要しますが、細胞診・病理診断の結果がなければ標準治療ができないことがあります。

院内設置部門の利点を
生かしたきめ細かな対応

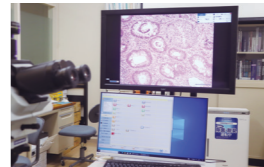
検体採取や保存方法のアドバイス、検体採取の場合の出張を行っています。組織検体が小さい場合に遺伝子検査が困難である場合がありますが、病理医は現在秋田県内に3名の分子病理専門医であり、必要と判断した場合には規定の何倍ものプレパラートを作製して検査に託し、できる限り患者さんから採取された組織が検査結果に結びつくようにしています。また、検査会社に委託した遺伝子検査結果は従来紙面配布で、治療に関わる多職種職員のすみやかな情報共有が困難なことがありましたが、2023年6月、検査結果が電子カルテに共有されるシステムを秋田県内で初めて導入しました。



臓器を厚さ3μmに切るマイクロトーム

病理診断科

病理診断科のページはこちら



質の高い医療は、正確な診断とそれに基づく適切な治療が行われることによって担保されています。病理診断科は、顕微鏡を用いて病変を直接診断するため、正確な「最終診断」を行う分野として病院の診療に貢献しています。関連する診療科とはカンファレンスやcancer boardを通じて密な症例検討を行っています。

「あいのまど」の由来

当院の病棟では個室も4床室も患者さん一人にひとつ窓があります。その安らぎの療養環境からイメージを得て病院歌「愛の窓」が作られ、そこから着想したものです。

運動前のおすすめストレッチ4選

ストレッチによって柔軟性を高めることは、疲労によって硬くなった筋肉をほぐす、または筋肉を柔らかくすることで伸びやすくなり、関節の可動域を広げるなどの効果があります。また、血行の改善による筋萎縮の抑制、疲労の回復の効果などもあります。

Let's Exercise

ストレッチを行う際には、反動をつけて急激に刺激を身体に与えることは控えましょう。

ゆっくり行っていくことが大事です。また、リラックスした状態で行うこと、毎日短時間でも行うことが効果的です。

1 脚うら伸ばし

- ①椅子に浅く座る。
- ②片脚を前に伸ばす。
- ③胸を張って、上体を前に倒す。
- ④反対側も繰り返す。



2 脚おもて伸ばし

- ①つま先、膝を前に向けて広めに脚を開く。
- ②胸を張り、脚の前側を伸ばす。
- ③反対側も繰り返す。



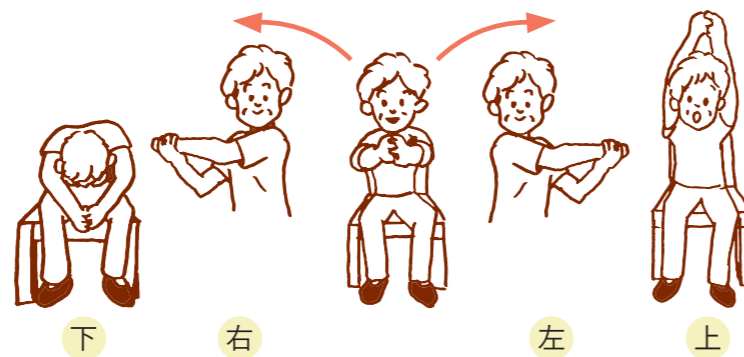
3 おしり伸ばし

- ①片脚を組んで座る。
- ②組んだ脚のつま先側に体を倒す。
- ③反対側も繰り返す。



4 おいのり

- ①両手を胸の前で組む。
- ②両腕を強く押し合いながら、上・右・左・下・前に伸ばす。



腕を左右に動かすとき、体がねじれないように気をつける。

部署紹介 小児科



後列左から石橋臨床研修医、村上第一小児科副部長

前列左から田村副院長(兼)第一小児科部長、土田第二小児科部長

秋田赤十字病院の基本方針に従い、急性期型、紹介型診療としての体制を目指しています。外来診療は新患、再来ともに予約制をとり、紹介患者および救急外来患者の診療を中心に、さらに担当医師の専門性を生かした専門外来(神経・発達、心臓、腎臓、膠原病、夜尿症)、学校健診の二次精査、および特殊外来(予防接種、乳児健診)を行っています。また総合周産期母子医療センターを持つことから、育児相談などにも積極的に対応しています。入院診療においては病診連携に頼るところが大きく、約70%がかかりつけ医からの紹介や救急外来受診後となっています。入院診療の対象は急性期疾患、慢性疾患の急性増悪、特殊疾患治療、各種検査入院など幅広い領域にわたっています。なかでも感染症に関連する頻度が最も高く、約70%を占めています。退院後の診療の多くを逆紹介としてかかりつけ医の先生方にお願いしており、当科の診療には病



小児科外来の待合室

診連携が欠かせないポイントとなっていることがわかります。現在の小児科体制は常勤医3人ですが、夜間・休日に関しては、救命救急センター医師との連携のもと、ほぼすべての小児救急疾患にも対応できる体制を目指して日夜奮闘しています。以上簡単ですが、当院小児科の紹介をさせていただきました。なにかご不明の点があれば、遠慮なく当院小児科にご相談ください。きっとお役に立てることと思います。

ACTION!防災・減災-命のために今うごく-

今日も、その日に備えて、様々な活動を続けています。日ごろからの備えも、赤十字の大切な活動です。救急法等の講習や防災セミナーなどを通じて命を守るために必要な知識や技術を広めています。

特設サイトへ



市民公開講座「卵巣がん・卵管がん」を公開しました



ホームページから
視聴できます



開催開始から16回目となる秋田赤十字病院市民公開講座。今回は、「卵巣がん・卵管がん」をテーマに、富樫第一婦人科副部長に講演していただきました。皆さんぜひご視聴ください！

がん患者コミュニティサロンを開催しています



がん患者コミュニティサロンは、同じ病気の人と話がしたいという患者さんの声から発足したものです。自分や家族が、「がんと言われたときの気持ちはこうだった」「こんな時はどうしていたの?」「こんな工夫をしたよ」などがんを体験しての思いや疑問などを自由にお話ししてみませんか。出入りは自由ですので、ぜひ直接会場にお越しください。

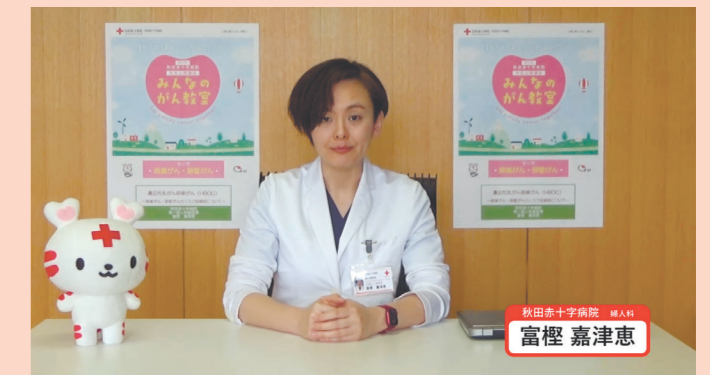
日時：奇数月の第2火曜日
10時から(1時間程度)
場所：秋田赤十字病院
2階 多目的ホール



詳細はホームページからご覧ください

「卵巣がん・卵管がん そして予防的卵巣卵管切除」

第一婦人科副部長 富樫 嘉津恵



患者満足度調査の結果を公開しました

当院では、医療サービスのさらなる向上に努めるため、患者さんとご家族の診療における満足度の現状を把握することを目的として、患者満足度調査を毎年実施しております。令和5年11月に実施した患者満足度調査の結果を当院のホームページにて公開しました。外来患者さん447人、入院患者さん218人の方に協力いただきました。皆様からのご意見は、今後の当院の診療や環境等の改善に活かしてまいります。お忙しい中ご協力いただいた皆様、ありがとうございます。

ホームページから
結果をご覧ください



編集後記

2024年がスタートし2か月が経ちますが、まずは1月1日に発生した能登半島地震により被害に遭われた皆様へ心からお見舞い申し上げます。当院を含め日本赤十字社では発災後から継続して被災地に対し支援を行っています。被災地で救護活動を行う救護班員も、病院に残って通常医療を行う者も職員一丸となって対応にあたっており、この「あいのまど」を読まれている皆さんも含め、より多くの力で被災地を応援していければと思います。1日も早く復興が進み、被災地の方々に笑顔が戻ることを願います。(企画調査課 皆川)

NICU卒業生 親子の会「めんちょこの会」

新生児集中治療室への入院経験を持つ親子同士の交流や情報交換、なつかしいスタッフとの再会、育児や発達の相談などを目的にした会です。ぜひ、お気軽にご参加ください。

- 日時：令和6年3月28日(木)13:00~14:30
- 会場：秋田赤十字病院 2階 多目的ホール
- 参加費：無料
- 参加申し込み・問い合わせ先
小児科外来受付(☎018-829-5000)



外来診療のご案内

(令和6年3月1日現在)

診療科目	午前/午後	月	火	水	木	金
泌尿器科 (予約制)	午前	○	○	○	○	○
神経内科 (予約制)	午前	○	○	○	○	○
	午後	○	○	○	○	○
整形外科 (予約制)	午前	○	○	○	○	○
	午後	○	○	○	○	○
内科	午前	○	○	○	○	○
	午後	予約のみ				
代謝内科	午前	○	○	○	○	○
	午後	予約のみ	○	○	○	予約のみ
腎臓内科 (7/2~予約制)	午前	○	○	-	○	○
	午後	-	-	予約のみ	-	-
血液内科	午前	予約のみ	予約のみ	予約のみ	○	-
循環器内科	午前	○	○	○	○	○
消化器(肝胆膵) (予約制)	午前	○	○	○	○	○
	午後	-	-	IBD	IBD	-
消化器(消化管) (予約制)	午前	○	○	○	○	○
消化器外科	午前	○	○	○	○	○
	午後	予約のみ	予約のみ	予約のみ	予約のみ	○
小児科 (予約制)	午前	○	○	○	○	○
	午後	○	○	○	○	○
小児外科 (予約制)	午前	-	-	-	-	○
産科	午前	○	○	○	○	○
	午後	妊婦健診・産後1か月健診のみ				
婦人科 (4/1~予約制)	午前	○	予約のみ	○	予約のみ	○
眼科 (予約制)	午前	○	○	○	○	○
	午後	検査				
脳神経外科	午前	○	○	○	-	○
呼吸器外科	午前	○	紹介・予約のみ	第2・4(予約のみ)	予約のみ	○
心臓血管外科 (予約制)	午後	-	-	○	-	-
緩和ケア内科 (予約制)	午後	-	-	-	-	○
乳腺外科 (予約制)	午前	○	○	○	○	○
	午後	○	○	○	-	-
呼吸器内科 (予約制)	午前	○	○	○	○	○
形成外科 (予約制)	午後	○	-	○	レーザー治療	○
皮膚科	午前	○	○	○	○	○
耳鼻咽喉科 (予約制)	午前	○	○・めまい	○	○	○
	午後	-	-	-	○	めまい
精神科 (予約制)	午前	○	-	○	○	○
	午後	○	-	○	-	○
腫瘍内科	午前	○	○	予約のみ	○	○

※婦人科は4/1～、腎臓内科は7/2～予約制となります。

予約制とは・・・当日受付不可のことです。

※休診日、診察時間外に関係なく、救命救急センターは24時間対応しております。



右記QRから受付時間・診療時間の詳細にアクセスいただけます

受付時間

診療科、曜日により異なります。

診療時間

8:30～17:00
(診療科、曜日により異なることがあります)

休診日

土・日曜日、国民の祝日、
12/29～1/3、7/1 (創立記念日)

面会時間

面会制限中

詳細は当院ホームページをご覧ください。

紹介状をお持ちの方

初めて受診する方は、地域医療機関 (最寄りの医院・病院) からの紹介状をお持ちください。
電話で予約も可能です。
予約先：地域医療連携室 018-829-5233 (直通)
平日 8:30～17:00

紹介状をお持ちでない方

予約先：各科外来窓口 018-829-5000 (代表)
平日 14:00～16:00
紹介状をお持ちでない方は、診療費の他に初診時の選定療養費*として7,700円(税込)をご負担いただきます。
*選定療養費…国が病院と診療所の機能分担の推進を図るために定めた制度です。